

令和5年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「個別最適な学び」を目指した取組事例 について

三郷市教育委員会

指導力の向上・授業改善

～ICTを効果的に活用した授業の充実～

ICT活用を進めることで、児童・生徒が自ら学び方を選択する機会が増加。「個別最適な学び」、「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指しています。

三郷市優秀教員表彰・受賞者による授業研究会

今年度は、小学校・社会、中学校・数学の授業を公開。個別最適な学び、協働的な学びを通して「主体的・対話的で深い学び」を実現する、優秀教員の優れた指導方法から多くの学びを得ました。

事例1

○教科名：小学校「社会科」

○単元名：第6学年

「明治の国づくりを進めた人々」

○身に付けたい力：

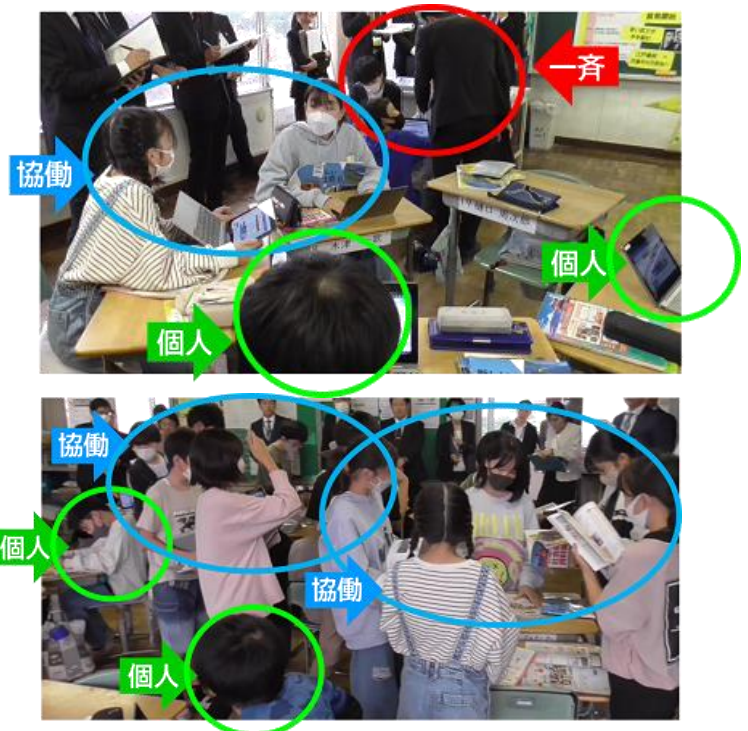
- ・開国により国内の生活が乱れたことや国外の情勢等について調べたことから、この頃の世の中の様子の変化について考え、説明することができる。〈思考力・判断力・表現力等〉

○一人一台端末を生かした個別最適な学びへの工夫：授業の複線化（下記写真参照）

教育のICT化により、複線型の授業（教師との一斉・個別最適な学び・協働的な学びを教室内で同時に行う）が、一層、実現可能になりました。

本時では、全員で課題を設定した後、教科書・資料集・書籍・インターネットを駆使して時代背景を調べ、各自がタブレット上のワークシートにまとめました。分からないところや疑問に思ったところは友達と話し合ったり、教師とともに解決の糸口を探ったりするなど、児童一人一人が必要な学び方を考え、選択し、一生懸命学習に取り組む姿が見られました。

なお、本市では、複線型授業の前提として、充実した学級経営、児童生徒同士・教師との確固たる人間関係づくりを大切にしています。



事例2

○教科名：中学校「数学科」

○单元名：第2学年「1次関数」

○身に付けたい力：

- ・式とグラフを相互に関連付けて考え、判断し、式とグラフの関係について説明することができる。〈思考力・判断力・表現力等〉
- ・式とグラフを相互に関連付けて考えようとしている。〈学びに向かう力、人間性等〉

○一人一台端末を生かした個別最適な学びへの工夫：グラフの視覚化（下記写真参照）

関数は抽象的な概念であるため、生徒がタブレットで表、式、グラフを相互に関連づけて考察し、具体的な事象や実験の結果を一次関数とみなして予想したり、その判断の根拠を説明したりすることができるよう工夫しました。タブレットを活用することで学習活動が増え、生徒一人一人が課題にじっくり向き合い、考えを深める姿が随所に見られました。



教員研修組織 **GIGA3・プロジェクト「すすめる研究部」**による授業研究会

ICTを効果的に活用した授業、児童・生徒の学習効果がより一層高まる授業の実現を目指し、市内のICT教育推進者が力を合わせて研究を進めています。

事例3

○教科名：中学校「特別活動」「道徳」

○題材名：第1学年

「家族との関わりを考え、
思春期の自己を見つめよう」

○身に付けたい力：

- ・家族との関わりについて、自分の行動を振り返り、ゲストティーチャーの話聞いて友達と話し合いながら、よりよい関わり方を見いだすことができる。〈思考力・判断力・表現力等〉
- ・家族との関わりをよりよくするとともに、人間としての生き方についての考えを深め、実践していこうとしている。〈学びに向かう力、人間性等〉

○一人一台端末を生かした個別最適な学びへの工夫：オンライン対話（下記写真参照）

子育て中のお母様方（産休中の教職員等）にオンラインでインタビューし、自己を振り返り、家族に対する理解やよりよい関わり方につなげられるよう工夫しました。

「生命の尊さ」について、道徳の学習で保護者からの手紙を生徒全員に渡すなど、家庭の理解と協力が得られるようにしました。

